

公益社団法人日本畜産学会
会員 各位

冊子体日本畜産学会報の年間発行回数変更について

2025 年第 96 巻の発行を迎えた日本畜産学会報は、大正 13 年の当会設立以来発行を続けておりますが、近年の投稿数の減少を受け、一昨年より、その対策および冊子体のあり方を検討してまいりました。

様々な雑誌がオンラインのみとなり、冊子体を発行することの意義や送料の負担増も含め、アンケートを行うなど会員の意見も考慮しながら議論を続けてまいりましたが、2025 年 6 月の理事会にて、日本畜産学会報の冊子体を年 4 回発行から年 2 回発行に変更することが承認されました。

来年度は、97 巻 2 号（2026 年 5 月）、3 号（2026 年 8 月）、2027 年春号（97 巻 4 号＋98 巻 1 号；2027 年 2 月）の 3 回を発行する予定でございます。

その後は 2 号と 3 号を合併した冊子を 8 月に、4 号と 1 号を合併した冊子を 2 月に発行してまいります。冊子体としての発行回数は減少いたしますが、年間 4 号の日畜会報を従来と同時期にオンライン版として出版する点はこれまでと変更はないため、冊子体の内容はこれまでと変わらない 4 号分を網羅することになります。どうぞご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

公益社団法人 日本畜産学会
理事長 菊地 和弘